

入試情報

Entrance exam information

▶入試日程

出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続期間
11/16(月)9:00～ 11/30(月)正午12:00 [インターネット出願]	12/12(土)	本学	12/19(土)	[入学金・授業料等] 12/21(月)～1/22(金)

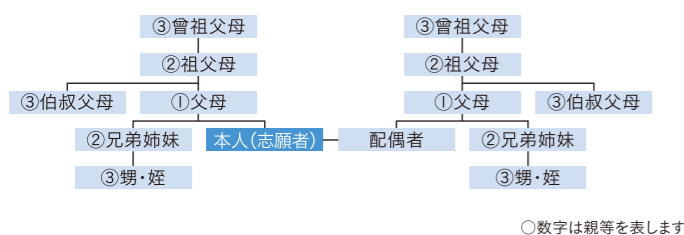
募集学部 ▶ 人文社会学部・教育学部・経営学部・看護学部・短期大学部

▶入試のポイント

面談および書類審査により、多面的・総合的に評価します。

面談	50点	志望理由書	30点	調査書	20点
----	-----	-------	-----	-----	-----

▶3親等内の親族図



「同窓入学試験」(専願制)を実施しています

四天王寺大学または四天王寺大学短期大学部を卒業または在学している3親等以内の親族がいる方を対象とした専願制入試です。

▶出願資格・入学金半額免除について

出願は以下の出願条件をすべて満たした者に限ります。また、合格した者は入学金を半額免除とします。入学後に入学金の半額を支給します。

●出願資格について

- ①高等学校もしくは中等教育学校を2021年3月卒業見込みの者で、学校長の推薦を受けた者
- ②四天王寺大学または四天王寺大学短期大学部の卒業生あるいは在学生の3親等以内の者
- ③各学科(専攻・コース)における調査書の全体の評定平均値が下表の条件を満たす者

学科(専攻・コース)	全体の評定平均値
日本学科	3.0以上
国際キャリア学科*	
社会学科	
人間福祉学科 健康福祉専攻	3.5以上
教育学科 小学校教育コース	
教育学科 幼児教育保育コース	
教育学科 英語教育・小学校コース*	
教育学科 保健教育コース	3.4以上
経営学科 公共経営専攻	
経営学科 企業経営専攻	3.3以上
看護学科	3.8以上
保育科	3.3以上
生活ナビゲーション学科 ライフデザイン専攻	3.0以上
生活ナビゲーション学科 ライフケア専攻	問わない

*国際キャリア学科では、全体の評定平均値3.0以上に関係なく、実用英語技能検定2級以上、TOEFL iBT*スコア60点以上、TOEIC*(L&R)スコア550点以上取得者は出願を認めます。
※2021年4月コース名称変更予定

④本学を専願とする者

四天王寺大学の“今”がわかる!

IBU NEWS

2020 NO.34

INTERVIEW

東京2020大会
ボランティア
参加学生
インタビュー

IBU TOPICS

- 冬学期に対面+遠隔授業を導入!
- 新たに東キャンパス竣工!
- クラブ・サークル団体活動再開!

NEWS

令和2年度

同窓会総会
書面決議に関する
お知らせ

第61回 IBU祭

同窓生・一般の方はご来場できません。
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、在学生の参加に限定して2日間の開催となります。

看護学研究科 看護学専攻

博士前期・後期課程

2020年4月開設

少子超高齢社会などの変化が進む社会状況において、人々の看護に求めるニーズはますます多様化・複雑化しています。こうした中で、本学の建学の精神を核に、看護の独自性・専門性を追求しつつ、地域社会で活躍できる高度専門職業人・研究者・教育者となる人材を育成します。本学の関連法人として社会福祉法人四天王寺福祉事業団があり、医療福祉施設、高齢福祉施設、保育・母子・女性福祉施設、障害福祉施設など20を超える施設を有しており、看護の実践・教育・研究を充実させていくための適した環境が整っています。また、医療現場で働く社会人の皆さんが勤務を続けながら修学できるよう、長期履修制度、夜間や土曜日の授業、また集中講義等も取り入れています。

博士前期課程

「研究者コース」と「専門看護師(高度実践看護師)コース」の2コースを設置。

研究者コース

多様化・複雑化している人々のニーズに対応して理想の看護を描きつつ、研究者や教育者としての基礎的能力を有した人材を育成する。

- ①変化する社会のニーズに対応した看護の提供をめざした研究ができる基礎的な能力を有する人材の育成
- ②看護職の教育的機能を理解し教育力を発揮できる人材の育成

専門看護師 (高度実践看護師) コース

精神看護学/老年看護学/
災害看護学

多様化・複雑化している人々のニーズに対応して理想の看護を描きつつ、教育・研究能力を備え、高度な看護実践能力を有した人材を育成する。

- ①人々の生活や健康を守るために、グローバルな視点を持ち、高い専門知識・技術を身につけた人材の育成
- ②実践の場において看護者や学生に対する教育的役割を果たし、多職種との協働ができる人材の育成

※高度実践看護師教育課程認定審査申請予定

博士後期課程

看護実践・看護学の発展に寄与できる次のような研究者・教育者を育成する。

- ①人々と社会のニーズに応じた看護実践や社会システムの構築・変革に寄与できる高い研究能力を有した人材の育成
- ②学際的・国際的視野に立って、研究・教育に寄与できる人材の育成

入試日程、要項など詳細は
入試情報NAVIからチェック!

<http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/nyushi/>



「IBU NEWS」のバックナンバーは
WEBからもご覧いただけます!
◀ QRコードからアクセス!



「和のこころ」を世界へ発信!!

東京2020大会ボランティア 参加学生 INTERVIEW

TOKYO 2020 Field Cast



人文社会学部 日本学科 3年
安保 泰樹さん

Q1 あなたはなぜ東京2020大会 ボランティアに参加しようと考えましたか?

以前からボランティア活動に興味があり、人の役に立ちたいと考えていました。私は、学生運営委員会に所属しており、オープンキャンパスの運営スタッフとしても活動しています。今回オリンピックというビッグイベントが日本でされるということで、このような機会は一生に一度しかないと思い、絶対に参加したいと考えたからです。また大学が全面的にサポートをしてくださり、とても参加しやすく、大会を絶対に成功させたい!と思ったからです。

Q2 東京2020大会ボランティアではどのような ことにチャレンジしてみたいですか?

世界中から集まった多くの人たちと対話することです。英語に自信はないですが、人と話をするのが好きなので、それをキッカケに人脈を広げオリンピックにボランティアとして関わったという達成感を味わいたいです。また、私がボランティアで参加する場所のチームリーダーとして配属されたので、思いっきり楽しんで他のフィールドキャストの方々とも力を合わせて、必ず成功させたいです。

人文社会学部 国際キャリア学科 3年
阪田 遥菜さん

Q1 あなたはなぜ東京2020大会ボランティアに 参加しようと考えましたか?

高校生の時から海外に興味を持ち始め、留学生を交えたアクティビティに参加したり、留学も経験しました。海外の人と会話をしたり、文化に触れ合ったりする事が好きで、オリンピックという世界中の人々が集まるイベントが自国で開催され、多くの人と関わることができるという点でも「こんなチャンスは人生で二度と来ない」と思い立って、チャレンジしました。また四天王寺大学では宿泊費用や交通費を一部負担してくれるサポート制度があった為、気軽に応募する事ができました。

Q2 東京2020大会ボランティアでは どのようなことにチャレンジしてみたいですか?

大会では日本の方々に加えて、海外ボランティアの皆さんとも知り合えるチャンスだと思うので、そういった方々との交流を大事にしたいと思います。昨年、ソルトレイクから来た留学生の大坂観光ツアーにアテンダントとして参加しました。日本人の私には当たり前と思っていることでも、留学生から「なぜ?どうして?」という素朴な質問がとても新鮮で、改めて日本の文化や良いところを再認識することができ「おもてなし」の大切さを実感しました。大会の運営に加え、日本の魅力を存分に海外の方に伝えることができればと思います。



Q3 卒業後どのようなことを したいと考えていますか?

国際キャリア学科では英語を中心に語学を学ぶのですが、昨年、国際交流協定校でもある中国の「浙江工商大学」に4ヶ月半留学に行きました。卒業後はアメリカや中国からの留学生との交流や、留学を通して得たこと、今回の東京オリンピックのボランティアなど、すべての体験を活かして海外と繋がりがあがる仕事に就きたいと思っています。



令和2年度

同窓会総会 書面決議に関するお知らせ

謹啓 平素は、本学同窓会活動におきまして格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、同窓会では学生の皆様の修学、課外活動等を支援し、教育環境および学生生活の充実を図っております。その様子を会員の皆様にご理解いただくために例年「同窓会総会」の開催とともに、ホームカミングデーや学科サロン等のプログラムも実施してまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむを得ず今年度の同窓会総会の審議については、書面による議決とさせていただきますことを同窓会役員会で決定いたしました。また、ホームカミングデーや学科サロン等のプログラムは、実施いたしません。

つきましては、本学公式ホームページに掲出しております審議事項をご高覧の上、お手数ではございますが、令和2年11月3日(火)必着で、同封の「四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部 同窓会総会 書面表決書」をご提出くださいますようお願い申し上げます。

なお、各審議事項につきましては、令和2年10月3日(土)に開催された同窓会役員会で、全員異議なく承認されたことを申し添えます。

謹白

ご意見・ご質問について

ご意見やご質問につきましては、下記ホームページの「ご意見・ご質問入力フォーム」等をご利用いただき、令和2年10月27日(火)までにお寄せ下さい。ご提出いただいた書面表決書のうち、賛成が過半数を超えた場合に可決とさせていただきます。ご提出のない場合や反対のご記入のない場合は、会長一任とさせていただきます。苦渋の決断ではございますが、何卒卒般の状況をご賢察の上、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

パソコンからアクセス

下記アドレスから四天王寺大学公式ホームページへアクセスし、画面左に表示されている「同窓会」ボタンをクリックください。



スマートフォン・タブレット はQRコードからアクセス



審議事項閲覧用(半角英数字)

四天王寺大学公式ホームページ
<http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/>

四天王寺大学 検索



SCHEDULE

11/3 火祝

令和2年度 第12回 四天王寺大学同窓会

「ホームカミングデー」
「同窓会総会」は
実施いたしません。

四天王寺大学同窓会「ホームカミングデー」「同窓会総会」は、令和2年11月3日(火・祝)での開催をめぐしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せない状況のため、皆さまの安全を第一に考えまして、実施を見合わせることにいたしました。毎年、楽しみにされている同窓生の皆さまには、誠に申し訳ございませんが、感染拡大防止の観点並びに皆さま及びご家族の安全を考慮しての苦渋の決断となりました。来年の四天王寺大学同窓会「ホームカミングデー」「同窓会総会」では、皆さまと笑顔でお会いできることを願っております。

同日開催を予定しておりました「第8回 教育学部ホームカミングデー」「第10回 保育科在学・卒業生交流サロン」につきましても、実施を見合わせる事となりましたこと、お詫び申し上げます。



※写真は昨年度開催の様子です。

お問い合わせ 同窓会事務局(入試・広報課) TEL. 072-956-3183

WEBサイト 四天王寺大学 同窓会公式サイト
http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/grad_ass/



令和2年度の主な
事業計画・事業内容(案)

- 4月**
 - 新入生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - 7月**
 - 在学生への支援【奨学金事業(奨学金) 5名 150万円(年間)】
 - 9月**
 - 教育・研究活動等支援【教育・研究活動等支援事業】(学校備品等の寄贈、課外活動支援)
 - 10月**
 - 同窓会役員会開催【同窓会総会等開催事業】
 - 同窓会会報誌(IBU-NEWS)発行・送付【同窓会会報発行事業】
 - 新入生による同窓会費納入(令和3年3月下旬まで)
 - 11月**
 - 同窓会総会を书面決議にて実施【同窓会総会等開催事業】
 - ホームカミングデー、懇親会を中止【同窓会総会等開催事業】
 - 3月**
 - 卒業生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - 在学生への支援【奨学金事業(奨学金)】
- その他母校の発展に寄与する事業



▶ライブ配信あり!

視聴はQRコードからアクセス!



Festival
IBU祭
(大学祭)
—— テーマ ——
翔～かける～

楽しいイベント
盛りだくさん!

SCHEDULE
11/1日・2月

在学生限定の開催

今年の大学祭は、コロナ禍の影響により関西圏では中止やオンライン配信のみとする大学が多い中、本学では議論を重ね「入学直後から遠隔授業となり、6月の水無月祭も中止となった新入生に楽しんでほしい」という想いから、令和2年11月1日(日)・2日(月)の2日間、第61回 大学祭(IBU祭)を開催することを決定しました。テーマは「翔～かける～」。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から在学生の参加に限定し、苦渋の決断ではございますが、毎年、楽しみにして頂いている同窓生をはじめ、地域の皆様や子どもたちのご参加を控えさせていただきますことご了承ください。大学祭当日は、中央広場のステージを中心にライブ配信を行いますので、是非ご覧ください。



IBU TOPICS
2020
四天王寺大学の活動やイベントなど、「今」を伝える最新情報をご紹介します!

01 冬学期に
対面+遠隔授業を導入

コロナウイルスの感染拡大防止策として、冬学期の授業は対面授業を原則としながらも、遠隔授業を併用したハイブリッド方式で9月19日(土)から開始しました。コロナ禍においても十分な感染防止対策を講じ、学生の安全を第一に考えたうえで、学びを止めないしくみづくりに尽力いたします。また万が一、学内において新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者等が発生した場合の対策として本学ではほとんどの授業で着席場所を記録して管理します。今後もさまざまな角度から、できる限りの対策を講じてまいります。



03 クラブ・サークル
団体が活動再開!

新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡大予防のため学内外における課外活動の一切を中止しておりましたが、活動再開を希望する団体の代表者と学生支援センターが「通学時・練習時・更衣室の利用」の感染防止策について、面談を行ったのち感染防止策が施されていると確認された団体から、学内に限定して6月26日(金)より活動を再開いたしました。



04 在学生ピアサポーター「PIATA」
が新入生向け相談窓口を開設



今年度の新入生はコロナ禍のため、長らく対面授業が行えませんでした。同級生や先輩学生とも顔を合わせる機会がなく、学生生活に対する不安を抱えており、誰かに相談することも難しい状況が続いていましたが、在学生ピアサポーター「PIATA」の学生らがTwitterを活用して気軽に相談・質問に答える窓口を立ち上げました。

02 新たに東キャンパス竣工!
7月13日(月)に竣工式を開催

昨年3月末を以て閉校となった四天王寺羽曳丘高等学校・中学校の跡地を改修し「東キャンパス」として竣工いたしました。キャンパスの拡張により、密を避け、より充実した学生生活の環境づくりを推進いたします。使用開始に先立ち、7月13日(月)に竣工式を執り行いました。昨年閉校となった四天王寺羽曳丘高等学校・中学校の跡地に「東グラウンド」「東体育館」「東テニスコート」「噴水広場」を新たに竣工いたしました。背景には本学の学生がクラブ・サークル活動を行う際、施設利用状況(総合体育館・武道場・グラウンド・テニスコートなど)などが過密になりつつある、という状況がありました。新設された東キャンパスの利用は7月14日(火)より新型コロナウイルス感染症の状況も考慮しつつ順次開始しています。



05 「ご祈禱クッキー」を地元
藤井寺市の医療従事者へ寄贈

8月24日(月)に地元藤井寺市の医療現場の最前線で新型コロナウイルス対策に尽力されている医療従事者の皆様へ、これからの早期収束に向けた「疫病退散」と日々の感謝の気持ちを込めて、本学オリジナルの「食べられるグッズ」シリーズ第5弾となる「ご祈禱クッキー」を寄贈しました。また6月初旬、重要文化財である四天王寺 元三大師堂にて同寺の瀧藤 尊淳(たきとう そんじゅん)執事長により「疫病退散」とともに「学業成就」のご祈禱を執り行いました。



四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部 「同窓会総会」「ホームカミングデー」 を開催しました



REPORT

令和元年11月3日(日)、第11回四天王寺大学同窓会総会・ホームカミングデーが開催されました。恩師や同窓生との再会を喜び、互いの近況などを話したりと、楽しいひと時を過ごされていました。さらに、同時開催の大学祭・生涯学習フェスタの賑わいを楽しみ、母校での思い出を仲間と語り合える一日となりました。また、同日には「保育科在学学生・卒業生交流サロン」と「教育学部ホームカミングデー」も開催。フリースペースとして開放された教室には、たくさんの在学学生、卒業生とその家族、教員の賑やかな声であふれていました。



四天王寺大学同窓会
会長 森田 貴夫

会長からのご挨拶

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹られた皆様、感染拡大により生活に影響を受けている皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。われわれの母校、四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部もコロナ禍により「令和元年度 学位授与式」「令和二年度 入学式」の全体式典が中止となりました。この夏に開催予定でした東京2020大会が翌年に延期と

なりましたが、ボランティアに選ばれた学生の皆様へ、引き続き同窓会として支援して参ります。また7月13日(月)には、四天王寺羽曳丘高等学校・中学校の跡地を改修し、新たに「東キャンパス」が竣工されました。クラブサークル活動も再開され、学生の皆様には積極的に利用していただき、より充実した学生生活を送っていただきたいと思います。

学長からのご挨拶

環境変化が学びを進化させる

新型コロナウイルス感染症により昨今の社会情勢・生活環境は、日々大きく変化しています。そんな中、本学ではwithコロナに対応した授業を実施すべく、施設や環境の整備を進めています。授業のオンライン化にあたっては、パソコンと通信機器を希望に応じて無償貸与し、経済的支援として、本学独自の奨学金も設けました。今年度の冬学期からは新型コロナウイルス感染症拡大に細心の注意を払いつつ、

対面授業と遠隔授業を組み合わせ、学びを止めず、学びを進化させることにより、新しい社会へ向かう事ができると信じています。そこに本学らしさが発揮できるよう引き続き学びの環境を整えていきます。東京2020大会が延期になるなど、何かと不安が多い世の中ではありますが、本学の支援体制をご理解いただき、これからも進化を続ける母校に是非ご注目ください。



四天王寺大学
四天王寺大学短期大学部
学長 岩尾 洋

同窓会事業報告

●学位授与式、入学式で記念品贈呈。

令和2年3月13日(金)に予定しておりました「学位授与式」そして同年4月1日(水)に予定しておりました「入学式」につきまして、共にかけがえのない行事であることから、感染対策を講じた上で開催する方向で、学内および関係各位と慎重な協議・調整を重ねてまいりました。断腸の思いでございますが、皆様の安全確保を最優先に考え全体式典を中止いたしました。同窓会から記念品として卒業生には学位記カバーを、新入生への記念品として恒例の念珠を贈呈しました。



●傘の水滴とり5台を贈呈。

教育・研究活動支援事業として、傘の水滴とり5台を寄贈しました。大講堂3台、6号館1台、食堂1台に設置しています。



●同窓会報奨金給付式を実施。

例年、学位授与式と同日に行っております同窓会報奨金給付式は、コロナ禍により中止となりましたが、アルティメット部、軟式テニス部、和太鼓部の3団体に対して、四天王寺大学同窓会より表彰状と報奨金が授与されました。アルティメット部は、学内行事や各種大会に積極的に参加し、上位をめざし着実に勝利をあげています。また残念ながらコロナ禍で中止となりましたが、今年度はWFDF2020世界ジュニアアルティメット選手権大会への日本代表選手として本学学生が選出されました。軟式テニス部は、昨年度春季リーグにおいて、4部への昇格を果たし、秋季リーグでは昇格こそ逃したものの、上部入替戦まで勝ち進み、着実に実績を積み上げています。和太鼓部は、平成30年に発足した同会ですが、学内外を問わず諸行事・イベントへ積極的に参加し、百舌鳥・古市市国府軍世界文化遺産記念イベント「古墳でふるる」、大阪マラソン2019「沿道ランナー盛り上げ隊!」へ参加。今年度から同好会から部へ昇格しました。3団体の皆さんには、今後、ますますの活躍を期待しています。

令和元年度 決算報告

平成31年4月1日～令和元年3月31日

収入の部

(単位:円)

大科目	予算額	決算額	比較増減	付記		説明
				科目	金額	
会費収入	11,970,000	11,940,000	30,000	会費収入	11,940,000	大学940名、短大248名、編入3名、大学院3名 計1,194名
寄付金収入	10,000	0	10,000	寄付金収入	0	
協力金収入	10,000	0	10,000	協力金収入	0	
雑収入	10,000	0	10,000	雑収入	0	
計	12,000,000	11,940,000	60,000			
前年度からの繰越金	78,360,000	80,576,187	△ 2,216,187			
収入の部合計	90,360,000	92,516,187	△ 2,156,187			

支出の部

(単位:円)

大科目	予算額	決算額	比較増減	付記		説明
				科目	金額	
運営費支出	4,710,000	4,110,073	599,927	印刷製本費支出	935,346	同窓会会報の発行 42,200部 大学から1/2補助
				通信費支出	1,503,709	同窓会会報(ほかの送料) 大学から1/2補助
				会議費支出	68,131	総会参加者への金券231枚 ホームカミングデー菓子代他
				慶弔費支出	0	
				記念品費支出	1,498,820	入学式 念珠、袋1084セット 816,820円 卒業式 学位記ファイル1000冊 682,000円
				寄付金支出	0	
				使用料及手数料支出	104,067	大学祭時の同窓会イベント費用 (子供遊具ふわふわ)95,425円、振込手数料 8,642円
				交遊費支出	0	
				事務費支出	0	
雑費支出	0					
寄付金支出	4,500,000	4,500,000	0	寄付金支出	4,500,000	①奨学事業支援1,500,000円(大8名、短2名)×15万円 ②看護学部開設記念寄贈品(電動ベッド他)3,000,000円
援助費支出	2,480,000	1,944,746	535,254	援助費支出	1,944,746	①学生朝食補助756,800円(夏2376食+冬1408食=3784食) ②会長表彰150,000円(アルティメット部、軟式テニス部、和太鼓部) ③施設設備充実費用(リサイクルボックス) 499,070円 ④課外活動支援等(パソコン6台) 495,000円 ⑤ホームカミングデー-保育科分科会 43,876円
その他の支出	10,000	0	10,000	部課未払金支払	0	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	予備費	0	
資金支出調整勘定	△ 10,000	0	△ 10,000	期末未払金	0	
計	12,690,000	10,554,819	2,135,181			
次年度へ繰越金	77,670,000	81,961,368	△ 4,291,368			
支出の部合計	90,360,000	92,516,187	△ 2,156,187			

令和元年度の主な事業内容

4月

●新入生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】

5月

●教育・研究活動等支援
【教育・研究活動等支援事業】
(学校備品等の寄贈・課外活動支援)

7月

●同窓会役員会開催【同窓会総会等開催事業】
●在学生への支援【奨学金事業(奨学金)】
大学8名、短大2名 計10名 150万円(年間)

9月

●同窓会会報誌(IBU-NEWS)発行・送付
【同窓会会報発行事業】

10月

●新入生による同窓会費納入(令和2年3月下旬まで)

11月

●同窓会総会の開催【同窓会総会等開催事業】
●ホームカミングデー、懇親会の開催
【同窓会総会等開催事業】

3月

●卒業生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
●在学生への支援【奨学金事業(奨学金)】

その他母校の発展に寄与する事業

寄付金情報 Donation Information

教育研究活動の活性化ならびに 教育環境の整備推進事業の 寄付金募集について

今日の激しく変化する社会において、少子高齢化に端を発し、大学を取り巻く環境は景気回復の兆しが見えてきたとはいえ、長引く不況の中、未来を予測することが困難な時代にあります。その中で、社会の高度情報化・グローバル化に対応した有為な人材を輩出していくことが強く求められており、その社会的要請にこたえるため、本学では教育研究・施設設備等の基盤整備に一層の充実強化を図っていく所存であります。つきましては、今後とも教育研究・施設設備の整備に努め、学生により充実したキャンパスライフを提供できるよう、皆様からのご支援を厚く広く賜りたく、この度寄付金事業を進めさせていただく事といたしました。教職員はもとより、卒業生の皆様、在学生保護者の皆様、各界で活躍の方々、企業・法人の皆様には諸事ご多端の折り、誠に恐縮に存じますが、本学の教育理念とその実現に向けた教育活動をご理解くださりまして本学の寄付金募集に何卒温かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

寄付金使途

教育研究活動の活性化ならびに教育環境の整備推進事業資金の一部

募集対象

在学生の保護者、卒業生、教職員、その他本事業に賛同いただける全国の個人及び企業・法人など

寄付金額

個人・法人(企業)・・・1口1万円(1口以上)
※1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。※寄付金は個人・法人(企業)を問わず、法規に基づいた所定の手続きにより、寄付金控除の対象となります。

銀行振込みの場合

同封の振込用紙(寄付申込書を兼ねています)によりお振込みください。なお三井住友銀行、ゆうちょ銀行(郵便局)からのお振込みの場合は、振込手数料は不要です。

※この寄付金は税制上の優遇措置が受けられません。優遇措置の詳細やクレジットカードを利用した寄付申込方法等については、四天王寺大学ホームページ「大学へのご寄付について」をご覧ください。

寄付金のお申し込み方法

本学では多くの皆様から、幅広くご寄付を募ることを目的とし、銀行振込とクレジットカードを利用した募金を受付しています。

募集期間

令和5年
9/30 まで

ご寄付について

<http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/guide/donation/>

お問い合わせ

四天王寺大学事務局経理課
TEL. 072-956-9937(直通) FAX. 072-956-9894
E-mail. keiri@shitennoji.ac.jp